実施要綱

人材育成プログラム

2027年春休み

この春、一歩踏み出す、未来の自分を変える

春のアカデミックホームステイ

「英語が話せないから…」「海外は不安だから…」
そう思っているなら、だからこそ一歩踏み出してほしい。
アメリカの家庭で暮らし、片言の英語で話してみる。
文化の違いに驚き、失敗し、笑い、悩む。
そして、「伝わった！」という瞬間に出会う。
この体験が未来への一歩になる！！

詳細は資料編をご覧ください

研修企画　南日本カルチャーセンター

お問い合わせ・お申し込み先

オンライン説明会
ZOOMにて開催

日時　2026年11月23日(月・祝)
12月6日(日)/12月20日(日)
2027年　1月17日(日)

〈午前の部〉9:30～12:00
〈午後の部〉13:30～16:00
ZOOMミーティングID：940 412 0761
パスコード：mncc1234

㈱南日本カルチャーセンター
〒890-0056　鹿児島市下荒田3丁目16番19号
TEL 099 (257) 4333 (代表)
FAX 099 (250) 0321
ホームページ　www.mncc.jp
Mail　ahs@mncc.jp
観光庁長官登録旅行業第1355号　㈳日本旅行業協会正会員
総合旅行業務取扱管理者　濵　田　逸　平
営業時間　平日 9:00～17:00 土日祝 休み
お問い合わせ専用フリーダイヤル：0120-212122

募　集　内　容

研修目的

若い年代のうちに異文化を体験することほど価値のあることはありません。日本と異なる言語、文化、生活習慣、価値観をもつアメリカにおいて、言葉と心のふれあいにより、相互理解を深めることで、異なる価値を受け入れ、世界標準というものの考え方のできる人材育成を目的としています。

研修の特色

●教育的なプログラムである。
●事前研修会（オリエンテーション）が充実している。
●期間中の様子をセンターのホームページ上で公開する。

研修参加資格

●日本国籍を有する中学生、高校生、大学生
●主体的に行動し、異文化を学ぶ姿勢のあること
●心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること（詳細は資料編参照のこと）
●参加者・保護者共にプログラムの趣旨を理解できること
●センターからの指示・決定事項を遵守できること
●携帯電話を持って行かないこと

研修期間　2027年３月26日～４月５日(11日間)

研修費用

638,000円（熊本空港発着料金）
638,000円（鹿児島空港発着料金）

募集定員　25人（最少催行人員10人）

ホームステイ地　アメリカ合衆国(西海岸の郊外都市)

申込締切日

2027年1月29日(金)(但し、定員になり次第、締め切ります。)

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アシアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空、アラスカ航空、スターラックス航空

研修費用の範囲

◇研修費用に含まれるもの

1．日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2．集合から解散までに発生する団体行動中の交通費用一切
3．米国受入機関の運営費用及び準備費用
4．期間中に計画されたプログラムの入場料、施設使用料などの活動費一切
5．往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）
6．オリエンテーション費用
7．ガイドブックなどの学習資料・配布物の諸経費
8．引率指導者同行費用

※家庭内での食事と宿泊はホストファミリーの好意により提供されます。
※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◇研修費用に含まれないもの

1．米国税関申告書作成料、携帯品・別送品申告書作成料、電子渡航認証システム（ESTA）代理申告手数料や有効性確認などの費用9,000円
2．ESTA申請料40ドル（有効なESTAの所有が確認された場合は必要ありません。）
3．パスポート印紙代（所持者は不要）
５年旅券…4,800円、10年旅券…9,300円
4．米国出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料
約9,000円
5．国内空港施設使用料や旅客保安サービス料、航空保険特別料金、空港税、国際観光旅客税など
約8,500円
6．燃油サーチャージ料
約107,630円（2026年10月１日時点の目安）
7．超過航空受託手荷物料金
8．任意の海外旅行傷害保険料
9．個人的なお小遣い
10．犬､猫などのペットがいない家庭を希望する方の追加料金15,000円(該当者のみ)

※上記パスポート印紙代は、窓口申請時の料金です。オンライン申請の場合、5年旅券、10年旅券共に、上記料金から400円下がります。
※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。
※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者が国際線出発空港から同行します。期間中は常に、センター本社と連絡を取り合います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2026年10月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起こることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2027年３月20日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日の同レートが1ドル165円以上の場合や、150円以下の場合は、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研　修　内　容

授　業
平日の午前中９時から12時までの３時間、アカデミックセンターで、現地教師による全て英語での授業が行われます。カリキュラムはテキストが使われ、アメリカの生活習慣や家庭生活について学習し、市民生活や生活習慣、文化などを幅広く学習します。

社会生活体験
警察署、消防署、市役所、郵便局などの公共施設等を訪問し、そこで働く方々から仕事内容の説明を受ける社会見学や、学校、老人ホーム等で日本文化を紹介する文化交換会、工場や農場見学やボランティア活動等、様々な経験をします。

家庭生活体験
日中の活動が終了すると、参加者はホストファミリーの家に帰り、翌日学校が始まるまで、家庭でそれぞれの時間を過ごします。この家庭での時間にホストファミリーは、参加者に特別なことを計画しているわけではありません。参加者をゲストとして特別扱いせず、普段通りの生活を送るだけです。ですから、ホストファミリーとの家庭生活に多くのものを期待することは禁物です。ホストファミリーは、純粋な博愛精神で皆さんを受け入れており、参加者に対して様々な場所に連れて行くという義務は一切負っていません。また、家庭内での食事や宿泊の提供も、彼らの好意によるものであり、義務ではありません。もし、「ホストファミリーが〜してくれない」という彼らへの不満や苦情があるとすれば、それらはお客様意識や家庭に受け入れてくださる寛大な気持ちに対する理解や認識不足、また、ホストファミリーの比較によって生まれるものです。彼らの善意に応えるよう常に感謝の気持ちを持って、常に「彼らのために何ができるか」ということを念頭に入れながら、責任ある行動を心がけましょう。

ランチタイム
授業が終わって、正午から午後１時まで昼食となります。毎日の昼食はホストファミリー宅から弁当を持参します。日本のお弁当とは異なり、サンドウィッチや果物、飲物、スナック類がアメリカの昼食となります。

終日研修
終日の社会見学があり、滞在地近郊の名所旧跡や景勝地や有名観光地を訪れます。この日は授業や午後の活動はありません。

ティーチャーコーディネーター（TC）
ティーチャーコーディネーター（TC）と呼ばれる米国人コーディネーターが、各種活動の企画や手配、現地学校との連絡等を行います。ホストファミリーの募集と決定も、TCが中心となって行います。問題が発生した際には、日本人の引率指導者と共に問題解決に尽力してくださいます。

引率指導者
日本を出発し帰国するまで、参加者の指導にあたります。参加者と同じステイ地に滞在し、基本的に、期間中に企画された活動の全行程に同行します。

ウエルカムパーティーとサヨナラパーティー
ウェルカムパーティーは、ホストファミリーとTCが中心となって行われます。ゲームをしたり、歓談したり、他のホストファミリーと交流を深める場でもあります。そこでどういう過ごし方をするのか、どのようにふるまうべきか、アメリカ式パーティーのあり方を学んでください。サヨナラパーティーは、参加者と引率指導者が中心となり、お世話になったホストファミリーやTCに対して感謝の意味を込めて行うものです。歌や踊りや特技等を披露し、みんなが一丸となって成功させましょう。

スケジュール表

月　日	活　　動　　内　　容
１日目	日本出発。時差の関係で、日本出発日と米国到着日が同日。TCが空港で出迎え、バスでステイ地へ。ファミリーと対面し、夕刻からウェルカムパーティー。たくさんの人に自ら声かけをし、友達を作ろう!!
2・3日目	ファミリーと週末を一緒に過ごす。期間中唯一の週末なので、ファミリーに日本料理を作ったり、手伝いをしたり、日本のことを教えたりして、ファミリーのために何ができるかを考えて時間を過ごそう。
４日目	午前は英語を使った授業。日常生活で使う簡単な会話の表現、俗語や慣用句について学ぶ。午後は消防署や警察署を訪問し、アメリカで働く人からの話を聞く。
５日目	午前は英語を使った授業。アメリカの祝祭日について学ぶ。午後は感謝祭やクリスマスなどアメリカの代表的な行事を疑似体験する。日本の祝祭日や行事も紹介して、お互いの文化交換をする。
６日目	シアトルへ終日研修。ワシントン大学やスペースニードル、パイクプレイスマーケットなどを見学。世界的な観光地であるシアトルの魅力を堪能する。
７日目	午前は英語を使った授業。アメリカの家族、家庭生活について学ぶ。午後は、老人ホームを訪問。習字や折り紙などを披露したり、日本の歌を歌ったり、日本のことを紹介したりして、文化交流を行う。
８日目	午前は英語を使った授業。アメリカのお金や買い物での英会話、物価の違いについて学ぶ。午後はスーパーマーケットを見学。アメリカの物価や物流について学習する。
９日目	午前は最後の授業。アメリカで学んだことを振り返って、英文を書いたり、ホストファミリーに渡すギフトを作る。午後はさよならパーティーの準備。夕刻はホストファミリーを招いてさよならパーティー。特技披露や合唱などの発表をして、お世話になったホストファミリーやTCに感謝の気持ちを伝える。
10日目	帰国日。ホストファミリーとアカデミックセンターで別れてバスで空港へ。TCとは空港でお別れ。
11日目	日本到着。入国手続き後、国内線に乗り継ぎ各県へ。着後解散。帰国後は、ファミリーに無事に着いた旨とお礼の手紙を書くのを忘れないようにしよう!!

※このスケジュールは、大体のひな形です。実際のスケジュールは、事前研修会（オリエンテーション）までにお渡しします。

申　込　方　法

申込方法

お申し込みには**「参加申込書」**と**「参加申込金」**の2点が必要です。

◇**参加申込書**　資料編巻末の申込書にご記入ください。

◇**参加申込金　5万円**（研修費用の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、ガイドブックと手続書類一式をお送りします。

申込先及び振込先

◇申込先

〒890-0056　鹿児島市下荒田3丁目16番19号
株式会社　南日本カルチャーセンター

◇振込先

三井住友銀行	鹿児島支店	普通口座	828282
肥後銀行	鹿児島支店	普通口座	1055554
南日本銀行	本店	普通口座	230800
鹿児島銀行	鴨池支店	普通口座	3138706
沖縄銀行	本店	普通口座	1278721
郵便振替口座			02010−8−32878

◇口座名　㈱南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。

※残金は２月19日までにお支払いください。

参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

２月14日から２月24日まで	研修費用の10％
２月25日から起算して研修開始３日前まで	研修費用の20％
研修開始日の前々日より研修開始日当日	研修費用の50％
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の全額



春のアカデミックホームステイに参加して

私にとってこのホームステイは、新しいことをたくさん学ぶことができた8日間でした。ホストファミリーにショッピングや公園に連れて行ってもらったり、キャンドル作りや日本食、アメリカの料理を作ったりして、一緒に生活する中で、うまく話が通じないときはとても悔しい思いをしましたが、分かったときの喜びや日本とアメリカの違いを共有し合うことができたときの喜びの方が大きかったです。最後のさよならパーティーでは、高校生としての挨拶もあり、特にみんなで歌った「上を向いて歩こう」が最高に感動しました。今回の出会いを大切にして、学んだことをしっかり記憶し、家族や友達に共有したいと思います。

鹿児島県種子島高等学校2年　山口愛乃

今回初めてのホームステイだったので、僕は緊張していました。しかし、約1週間自分の好きな英語で会話や勉強ができるので、わくわくもしていました。僕はホームステイで、特にアメリカの文化を学びました。アメリカの食事は、特別な行事以外、日本よりも簡単であることや、ホストファミリーの冷蔵庫を勝手に開けてよいことが分かりました。期間中に行った老人ホームでは、お年寄りの方々と一緒に折り紙をしたり、けん玉やダンスを披露したりしました。自分に関する話がたくさんできて、楽しい1日でした。

宮崎県宮崎西高等学校附属中1年　近間悠太

ホームステイでは、生活の中に、日本語や日本を感じる物がなく、強制的に英語をしゃべらないといけないため、すごく英語が身につきました。隣人とすごく仲が良く、ディナーを食べたり、家でたき火をしたりなど、色んな人と仲良いのがアメリカの良いところだと思います。ホームステイに参加した子たちともすごく仲が良くなれたので嬉しかったです。英語はすごく苦手で、一番大嫌いな教科だったけれど、このホームステイのおかげで、英語を勉強することが好きになりました。自分にはアメリカにも家族がいると誇りを持って言えるので、高校に入ったら、今の得意教科以上に頑張りたいと思います！

熊本県城南中学校3年　間嶋はるか

初めての飛行機でホームステイだからちょっと緊張したが、集まってからいろんな人と喋って安心できたと思う。家でタコスパーティーしたり、ダンスレッスンを受けたり、初めて食べるもの、することにトライできたからよかったなと思う。初めはシャイだったのに、今は笑顔で話してくれるようになったファミリーや辛い時に一緒にいてくれて話を聞いてくれた友達、アメリカで出会った学校の友達と離れたくないから辛いけど、そう思える人たちと出会えて本当に楽しかった。またいつかもっと英語を喋れるようになって、みんなと再会したい。

大分県西中学校3年　足立夏蓮

行く前は、正直行きたくないと思っていましたが、グループのみんなが優しく声をかけてくれたおかげで、自分から話すのが苦手な僕でも、安心してアメリカへ向かうことができました。タニーシャ先生やみんなとの授業も楽しく、学校の授業とは違う、英語の本質をよりつかんだものをたくさん学びました。今回のホームステイに参加し、僕は視野が広がり、様々なことに挑戦したいと思うようになり、たくさんの人々との交流を通じて、人間として成長することができました。これまで支えてくれた先生方や家族、タニーシャ先生、ホストファミリーの皆さまに心から感謝しています。本当にありがとうございました。

鹿児島県桜丘中学校3年　生見　遥

アメリカという異国の地に立ち、現地のファミリーと生活するという、貴重な8日間でしたが、しっかりと成長することができました。アメリカに着くと、ホストマザーのタニーシャに温かく迎えてもらいました。ステイ期間中、一番記憶に残っているのは、車のドアです！日本で朝、車に乗るとき、ドアノブが凍っていて開けられなかったことは、もちろんないですよね！アメリカで朝、学校に行く際に、ドアノブが凍っていて開けられなかったことがとても面白い経験でした。自信に満ちた表情の中学生たち、何かを学び、理解が深まったような表情の高校生たちがいて、本当に一人一人が成長できたと思います。

長崎県大村高等学校2年　渡辺遥斗